

(1) 年 教科【理科】

使用教科書	未来へ広がる サイエンス 1 「啓林館」	
学習の目標 ・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を達成するために情報や知識を身に付け、調べることや観察・実験を自ら進んで行う。 ・学習課題に対して自分の意見や考えを持ち、理論的に答えようと取り組む。 ・学習課題の対しての答えを自分の言葉や資料をもとに伝え表現することができる。 	
年間の 授業内容	前期	4月 単元1『いろいろな生物とその共通点』 4・5月 1章「植物の特徴と分類」 5月 2章「動物の特徴と分類」 6月 単元2『活きている地球』 6・7月 1章「身近な大地」 7月 2章「ゆれる大地」 9月 3章「火をふく大地」 4章「語る大地」 10月 単元3『身のまわりの物資』
	後期	10・11月 1章「いろいろな物質とその性質」 11月 2章「いろいろな気体と性質」、 3章「水溶液の性質」 12月 4章「物質のすがたとその変化」 1月 単元4『光・音・力による現象』 1章「光による現象」 2月 2章「音による現象」 3月 3章「力による現象」
特色ある 学習など	<ul style="list-style-type: none"> ・授業は教室と理科室を使い分けて行います。 ・実験では、少人数グループや班で協力して取り組むことが多くあります。 ・実験をノートやレポートに記入し、しっかりまとめます。 	
評価の観点	<div>知識・技能</div> 学んだことを理解して課題にとりくめたか。実験技能を高め、安全に実験に取り組めたか。 <div>思考力・判断力・表現力</div> 実験においての考察で自分の考えをまとめ、文章としてまとめ、説明できる 今までの実験経験を活かし、実験手順を考えることができる。 <div>主体的に学びに取り組む態度</div> 予習や授業で与えられた課題に対し、より知識深めるために自分で調べ学習や、理解しようとする工夫が見える。 学習課題以外について興味を持って学習に取り組めたか。 学習課題について積極的に取り組み、自分の考えをまとめ、発展させることができたか。	
評価の方法	学習への取り組み方、授業中の活動(発言、話し合い、発表、取り組み状況、表現の仕方等)、レポート・ワークシートなどの提出物や課題、ワークの提出、定期テストや小テスト、などで総合的に評価する。	
注意事項	レポート・ワークシート・プリントなどは人数分用意してあるので、欠席した場合、次回に本人が申し出て必ず貰うようにすること。(成績評価への影響があるため)	